

## 宇都宮製作

宇都宮製作の2021年3月期第3四半期(4~12月)業績は、新型コロナウイルス感染症拡大により使いきり手袋の需要が大幅に増加し、前年同期比増収の見込み。「国内でコロナが話題になり始めた2月頃から医療従事者を中心に需要が伸び始め、3月以降は大幅に増加。以降、足元までその状況が続いている。需要はグローバルで急増し、各国で取り合いの様相を呈し需給はひっ迫している」(宇都宮製作)状況だ。

品種別では、NBR製、PVC製、天然ゴム製、ポリエチレン製の全ての販売が拡大しており、医療現場で使用されているNBR製とPVC製が特に好

調。なかでもNBR製は素手感覚に近い薄いタイプが好評で、需要は大きく伸長している。

需給がひっ迫するなか、課題として取り組んでいるのが、“ユーザーへの安定供給”だ。3月頃から足元まで仕入れ価格の上昇は継続しており、一部

製品は通常の5倍近くまで高騰している。同社では3月以降は全製品の出荷を制限し、既存ユーザーの供給分を優先して確保。その後も価格上昇分を受け入れながら安定供給に努めてきた。

通期業績については、「需要過多の状況は3月までは継続する」(同)とみて増収を見込む一方で、利益は「仕

入価格の上昇分を即座に価格転嫁するのは難しく、月ごとのタイムラグもあるので着地は不透明」(同)としている。引き続き「社内外での情報交換を密にして安定供給を優先するとともに、価格転嫁への理解を得る努力をしていく」(同)方針。

製品面ではSDGsに即した環境対策として、製品パッケージのコンパクト化やPPフィルムの削除に取り組んでいる。数量はそのままにパッケージを小型化することで、紙資源と運送コ

ストの削減、在庫スペースの確保等に貢献できる。主力製品から順次実施しており、来年1月頃からは薄手仕様の天然ゴム製手袋「トーマラテックス グローブ EX」をコンパクトパッケージに切り替え、その他製品についても展開していく計画。



コンパクトパッケージの「トーマラテックスグローブ EX」

# 使いきり手袋の安定供給を優先